

科目名	中国の社会と文化			ナンバリング	COM351	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	吉田健一	担当教員					

授業の概要	中国の社会の歴史の変遷を辿りつつ、少数民族を含む多くの人々によって育まれた多彩な文化を考察することにより、社会と文化の関係を把握することを目的とする。文字の発明に見られるように周辺地域にも文化的に大きな影響を与えた古代から、階級闘争を中心とした革命を経て改革開放の道を歩み、世界有数の経済大国の地位を獲得した現代までの中国の社会と文化を知る手がかりとして、漢字、家族制度、風土、上海の発展、四つの現代化など様々な視点から、中国の社会と文化の特徴を考察する。						
到達目標	1.中国の文字の特徴について説明できる。 2.大家族制から一人っ子政策に至るまでの中国の家族制度について説明できる。 3.広大な中国の風土について説明できる。 4.中国の経済を支える上海の歴史、発展状況について説明できる。 5.中国の経済発展がもたらした社会・文化への影響について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	中国の政治・経済史や文化史についての入門書を読んでおく授業内容が理解しやすくなる。 新聞・テレビ・ネットニュースなどにより、現在の中国で何が起きているのかについて常に目を向けることが大切である。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
		3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
現代の中国社会と文化の概要を一通り理解し、説明することができる。	長きにわたる中国の歴史を踏まえた上で、中国の社会と文化がどのようにして築かれたのかを把握し、かつ説明することができる。さらに、中国の社会と文化の今後の見通しについて自分なりの考えを述べることができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○					80%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○				20%

課題、評価のフィードバック	1.小テスト後に要点を指摘して解説する。 2.テスト問題や講義内容に関する質問や提案について随時説明する。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	中国とは何か	何気なく使っている「中国」ということばについて、それはいつごろから使われているのか、どのような意味を持つのかについて解説する。	
	第2回	「人」について	『説文』における「人」の成り立ち、「人民」とは何かについて解説する。	
	第3回	大家族制	中国のかつての大家族制と現在への影響を解説する。	
	第4回	小家族制と一人っ子政策	中国にもあった小家族主義の考えと一人っ子政策について解説する。	
	第5回	小テスト	主に第1回から第4回の授業内容について小テストを実施する。	
	第6回	風土について	中国の風土と社会・文化との関連を解説する。	
	第7回	「天下」観について	中国人の天下観と天下を治める皇帝について解説する。	
	第8回	中国の南北問題	中国の南と北の風土・社会等の違いについて解説する。	
	第9回	小テスト	主に第6回から第8回の授業内容について小テストを実施する。	
	第10回	魔都上海	かつて魔都と呼ばれた上海の始まりと租界について解説する。	
	第11回	文化の先進地上海	西洋文化取入れの先進地としての上海について解説する。	
	第12回	上海を彩った女性たち	上海を舞台に活躍した歌手、映画スター、近代女性たちを紹介する。	
	第13回	挫折と巻き返し	中華人民共和国成立後の様々な社会変革の挫折とそこからの巻き返しについて解説する。	
	第14回	中国の近代化と今後の行方	経済特区方式による経済の躍進と一定の近代化について解説するとともに、中国の今後の行方について学生と共に考える。	
	第15回	小テスト	主に第10回から第14回の授業内容について小テストを実施する。	
	試験	全体を通じた試験は実施しない。小テストを3回実施し、その合計点及び授業参加時の積極性によって評価する。		
授業の進め方		テキストを使用する。そのほか、必要に応じてプリントを配る。区切りのよいところで小テストを実施する。		
授業外学習の指示		中国史、中国社会、中国文化に関する文献を調べるとともに、中国関連のニュースに触れる。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	竹内実『中国という世界 ――人・風土・近代』岩波新書(2009/02)ISBN 978-4-00-431174-4
参考書	必要に応じてプリントを配付する。
参考URLなど	
その他	